

## 平成18年度事務事業評価表

担当	建設部	土木港湾課	内線等	2252
----	-----	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	河川維持整備事業				
根拠法令等	河川法・蒲都市河川管理規則		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	河川 ・ 排水路
-----------------	----------

事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡市民に対し
手 段	河川の補修・草刈等適切な維持管理をすることにより
想定する成果	水害を防ぎ、環境美化と憩の場所を提供する。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
維持整備工事費	小規模工事 442 千円	尺地川 5,502 千円	兼京川 4,000 千円
		西田川外 4,593 千円	小規模工事 1,600 千円
河川管理委託業務	草刈工 8,782 千円	草刈工 8,858 千円	草刈工 4,000 千円
管理河川総延長	49.8 k m	49.8 k m	49.8 k m

成果指標

成果指標名	河川1km当たりの維持管理費	河川1km当たりの草刈費
成果指標の説明	事業費 / 管理河川総延長	草刈費 / 管理河川総延長

事業の進捗状況 （一般 会計 ）

（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	193
	実績	185	381	-
成果指標	計画	-	-	80
	実績	176	178	-
事業費	事業費	9,224	18,953	9,600
	人件費	6,435	6,227	6,311
	(人数)	0.8	0.8	0.8
	合計	15,659	25,180	15,911
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	15,659	25,180	15,911

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	2	2	2	地域要望を含め、ほぼ目的を達成している。
経済効率性	2	2	2	2	業務の集約化を図り、経費の縮減に努めている。
事務効率性	3	3	3	3	投入された人員に十分見合った成果をあげている。
必要性	3	2	3	3	維持管理については、市が実施すべき事業である。
小計	10	9	10	10	
施策への貢献度	2	-	2	-	河川整備推進は、やすらぎのあるまちづくりに必要不可欠である。
合計	12	9	12	10	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	河川の環境美化については、地域住民の清掃活動等の多数への参加が望まれる。
------	---	---	---	---	--------------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
緊急性、必要性に重点をおきながら、優先順位を決めて実施した。	

今後改善すべき点

草刈等、維持管理については、限られた予算であるので、時期・回数等をよく検討し、効果の良い方法で実施する。
--

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

## 平成18年度事務事業評価表

担当	建設部	土木港湾課	内線等	2252
事業コード		事務事業名	排水路整備事業	
根拠法令等			A 法令 B 条例 C 規則 D その他	E なし

総合計画での位置付け  
基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	河川・排水路
-----------------	--------

### 事務事業の内容

対象(受益者)	蒲郡市民に対し
手 段	排水路を新設・改良することで
想定する成果	水害を防ぎ、環境衛生の向上、また下水道施設の補足的役割をする。

### 事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
排水路整備工事費	3,481 千円	5,631 千円	0 千円
排水維持整備工事費	10,996 千円	4,387 千円	4,000 千円
地域要望箇所	7 箇所	8 箇所	-
実施箇所数	4 箇所	6 箇所	-
実施設計委託料	0 千円	0 千円	9,000 千円
工事延長	67 m	76 m	0 m

### 成果指標

成果指標名	1 m当たりの築造工事費	地区要望実施率
成果指標の説明	排水路整備工事費 / 工事延長	施行実施箇所数 / 地区要望箇所数 × 100

### 事業の進捗状況 ( 一般 会計 )

(千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	-
	実績	52	74	-
成果指標	計画	-	-	-
	実績	57.1%	75.0%	-
事業費	事業費	14,427	10,018	13,000
	人件費	15,284	14,790	14,989
	(人数)	1.9	1.9	1.9
	合計	29,711	24,808	27,989
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	29,711	24,808	27,989

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	2	2	2	地元要望が主体で、ほぼ目的を達している。
経済効率性	3	3	3	3	投入された予算に十分見合った成果をあげている。
事務効率性	2	2	2	2	投入された予算にほぼ見合った成果をあげている。
必要性	3	2	3	3	下水道事業のサポート的役割として市が実施すべき事業である。
小計	10	9	10	10	
施策への貢献度	2	-	2	-	快適な市民生活に効果がある事業である。
合計	12	9	12	10	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	事業推進の効果により、大雨時の越水等は減少した。
------	---	---	---	---	--------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成12年ごろから多種多様なプレキャスト製品（工場等であらかじめ成型されたコンクリート製品）の活用により、工期の短縮と現場での副産物（現場打工法に伴う木製型枠及び金属止具）の発生量の抑制に努めた。	

今後改善すべき点

地元住民からの要望及び被害発生区域を調査検討し、年次計画を立てこれに基づき施工する。
--

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

## 平成18年度事務事業評価表

担当	建設部	土木港湾課	内線等	2252
----	-----	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	港湾整備事業		
根拠法令等	港湾法・蒲都市倉舞港管理条例		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

人と自然が共生する潤いあるまちづくり	港湾・海岸
--------------------	-------

事務事業の内容

対象（受益者）	港湾利用者に対し
手 段	秩序ある整備と適正な運営をすることにより
想定する成果	適正な利用と安全性を図る。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
総事業費	17,332 千円	19,889 千円	23,600 千円
（矢板式護岸）	（17,010 千円）	（19,200千円）	（22,000千円）
護岸補修計画延長	232 m	232 m	232 m
施工延長	22 m（累積）187 m	20 m（累積）207 m	25 m（累積）232 m

成果指標

成果指標名	係船護岸補修率	護岸1m当たり施工単価
成果指標の説明	施工済総延長 / 補修計画延長 × 100	矢板式護岸（工事費） / 施工延長

事業の進捗状況（一般会計）

（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	100.0%
	実績	80.6%	89.2%	-
成果指標	計画	-	-	880
	実績	851	960	-
事業費	事業費	17,332	19,884	23,600
	人件費	8,848	8,562	8,678
	（人数）	1.1	1.1	1.1
	合計	26,180	28,446	32,278
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	26,180	28,446	32,278

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	2	2	2	ほぼ当初目標どおり進捗している。
経済効率性	2	2	2	2	経費の縮減に努めほぼ成果をあげている。
事務効率性	3	3	3	3	投入された予算に十分見合った成果をあげている。
必要性	3	3	3	3	適正な利用を図るため市が実施すべき事業である。
小計	10	10	10	10	
施策への貢献度	2	-	2	-	施策の達成には効果がある。
合計	12	10	12	10	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	港湾施設の維持管理及び適正な利用が図られている。
------	---	---	---	---	--------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
現場状況を良く把握し、適切な設計をして施工した。	

今後改善すべき点

工事の施工時期等の地元調整が必要である。
----------------------

平成20年度予算に反映する項目

年次計画に基づいて施工する。
----------------

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

## 平成18年度事務事業評価表

担当	建設部	土木港湾課	内線等	2252
----	-----	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	海岸環境整備事業		
根拠法令等	海岸法		A 法令	B 条例	C 規則 D その他 E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

人と自然が共生する潤いあるまちづくり	港湾・海岸
--------------------	-------

### 事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡市民に対し
手 段	海岸環境を整備することで
想定する成果	公衆の海岸の適正利用と環境美化を図り、憩いの場所を提供する。

### 事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
海岸維持整備 （小規模）	植栽工外 小規模工事 4,897千円	小規模工事 1,287千円	小規模工事 800千円
海岸線維持整備 委託料	海岸維持整備 6,333千円 草刈工 505千円	海岸維持整備 844千円 草刈工 1,447千円	海岸維持整備 0千円 草刈工 1,800千円
三谷海岸緑地清掃	845千円	749千円	800千円
海岸線延長	28.6 k m	28.6 k m	28.6 k m

### 成果指標

成果指標名	海岸線 1 k m 当たりの維持管理費	
成果指標の説明	事業費/海岸線延長	

### 事業の進捗状況（一般会計）（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	119
	実績	440	151	-
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	12,580	4,327	3,400
	人件費	12,066	11,676	11,834
	(人数)	1.5	1.5	1.5
	合計	24,646	16,003	15,234
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	24,646	16,003	15,234

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	2	2	2	地元要望も含め、ほぼ目的を達成している。
経済効率性	2	2	2	2	経費の縮減に努めている。
事務効率性	3	3	3	2	適切な業者指導により、環境美化を図っている。
必要性	2	2	2	2	事業は市が主体となるべきであるが、地元に対して協力を働きかけるべきである。
小計	9	9	9	8	
施策への貢献度	3	-	3	-	市にとって、環境美化は必要不可欠である。
合計	12	9	12	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	地域住民との連携が必要である。
------	---	---	---	---	-----------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
海岸線の管理者である愛知県に対し、積極的に取り組むよう働きかけた。	

今後改善すべき点

市民が積極的に清掃活動等、できるような環境づくりが必要である。
---------------------------------

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

## 平成18年度事務事業評価表

担当	建設部	土木港湾課	内線等	2252
----	-----	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	土木工事業務受託事業		
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則
			D その他	E なし	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

その他	その他
-----	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	技術職員がいない部署のために
手 段	一括して工事の設計・監督を受託することで
想定する成果	適切な施工と管理を確保し、円滑な事業を達成する。

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
事業費	224,523千円	70,155千円	203,700千円
受託工事件数	43件	19件	8件
うち小規模工事	30件	10件	1件
受託課数	10課	9課	7課

成果指標

成果指標名	1件当たりの平均受託工事費	小規模工事受託比率
成果指標の説明	事業費/受託工事件数	小規模工事件数/受託工事件数×100

事業の進捗状況（一般会計）

(千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画	-	-	25,463
	実績	5,221	3,692	-
成果指標	計画	-	-	12.5%
	実績	70.0%	52.6%	-
事業費	事業費	0	0	0
	人件費	4,022	3,892	3,945
	(人数)	0.5	0.5	0.5
	合計	4,022	3,892	3,945
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	4,022	3,892	3,945

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	2	2	2	ほぼ目的を達成している。
経済効率性	2	2	2	2	投入された予算にほぼ見合った成果をあげている。
事務効率性	2	2	2	2	投入された人員にほぼ見合った成果をあげている。
必要性	2	2	2	2	技術職員がいない課には必要である。
小計	8	8	8	8	
施策への貢献度	-	-	-	-	
合計	8	8	8	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	施工年度・施工時期等、担当課との調整が必要である。
------	---	---	---	---	---------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
職員による測量等で、設計委託費の減少に努めた。	

今後改善すべき点

委託担当課での計画性が無く、追加・飛び込み工事が多く、年度末に集中するので、ある程度の年度計画を協議作成する必要がある。
--

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ **現状維持** ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】